

どの児童にも思考力・表現力を身に付けさせるための算数科授業の在り方

向日市立第3向陽小学校

全国学力・学習状況調査の結果における特徴

「国語A」「算数A」とともに基礎的な力が定着している。毎日の授業だけでなく毎学期実施の「計算力パワーアップ週間」の取組、計画的な補充学習、通級指導教室や家庭との連携等の効果が表れている。

「国語B」「算数B」では、特に記述問題において向上が見られた。授業で自分の考えをノートに書いたり友達に説明したりする等の言語活動を毎時間意識的に取り入れ、積み上げてきた成果であると考えている。

全国学力・学習状況調査の結果に寄与したと考えられる取組

授業における取組

1 自力解決を大切にした授業

本校では、自力解決を大切にした授業を積み上げてきた。どの児童にも自分で考える力を身に付けさせ、書いたり発表したりして表現する力を付けさせたいと考えたためである。自力解決の時間には、コース児童の実態に応じて前時の掲示物を活用したり、教具を工夫したりする等、全員に解決の見通しを持たせるようにした。

<授業の流れ>

- ① めあての提示
- ② 課題の提示
- ③ 自力解決
- ④ 自分の考えや意見の発表
- ⑤ 質問や意見の交流
- ⑥ ポイントまとめ
- ⑦ 練習問題での習熟
- ⑧ 振り返り

めあて
・ゴールがわかるように

問題

自分の考え
・予想される児童の解答例
・誤答に対する手立て
・ヒントとなる教具・準備物
・まとめへ導く手順

指導ノート

まとめ
・新しい用語は赤色
・囲み線は赤色

練習

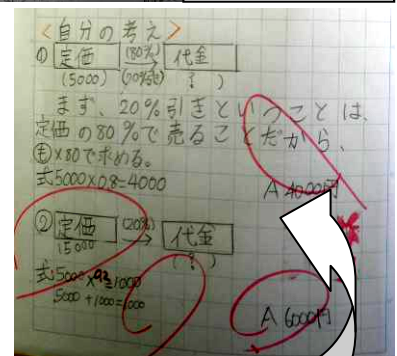
振り返り
・めあて達成について
・次時の導入に生かす

2 ノート指導の充実

- (1) 見開き2ページで1時間の学習内容をまとめる
- (2) 自分の考えを整理してまとめる
- (3) 数式や言葉、図等を使って端的に書く

3 京都府学力診断テスト結果の分析を生かした授業改善・教材研究

- (1) 課題の見られる領域の原因分析
- (2) 各単元で児童に付けたい力を焦点化し、単元指導計画を工夫
- (3) 教師の指導の工夫を書き込んだ「指導ノート」の作成
- (4) 「指導ノート」と板書や児童のノートとの一体化



自分の考えを分かりやすく表現

児童のノート

